

第2節 大気プロジェクト

～ 脱炭素社会の実現を目指し、きれいな空気を維持しよう～

1. 現状と課題

地球温暖化問題に対して、2015年に世界では『パリ協定』を採択し、日本でも2016年地球温暖化対策計画を策定しました。地球温暖化による気候変動の影響は大きく、近年、各地で大きな災害が多発しています。世界では脱炭素社会の実現に向けた取組みが進んでいるところです。

本市においては、家庭や事業所でのごみの不法焼却や燃やせるごみの排出量の増加による温室効果ガス排出量の増加、農畜産業に係る悪臭などの問題があります。

大気に係る公害防止に向けて、家庭や事業者による環境配慮の取組みを拡大し、安心・安全・快適に暮らせる環境の確保が課題となっています。



大気プロジェクト

■関連する施策



エコ意識・環境学習



農畜産



暮らし

■関連するSDGs



3

すべての人に健康と福祉を



7

エネルギーをみんなにそしてクリーンに



11

住み続けられるまちづくりを



12

つくる責任つかう責任



13

気候変動に具体的な対策を

2. 施策の方向性

●脱炭素社会の実現

3Rなどの推進により、燃やせるごみを減量し、温室効果ガスの排出量を減少させます。また、家庭や事業所における環境負荷の少ないライフスタイルの導入による温室効果ガス削減を実践します。

●生活環境と健康の保全

家庭や事業所での不法焼却や、堆肥の野積みなどによる悪臭公害を無くすための対策を推進し、市民の生活環境や健康を守ります。

●曾於市役所地球温暖化対策実行計画

市役所で策定している「曾於市役所地球温暖化対策実行計画」の推進により、二酸化炭素の削減目標を達成します。

3. 施策

3-1. 地球温暖化対策に関する施策

家庭における取組み

施策番号 15 エアコン使用による温室効果ガスの排出量を抑制するため、夏季・冬季のクールシェア・ウォームシェアの実施について毎年広報します。

施策番号 16 ドライバー一人ひとりがエコドライブとアイドリングストップを実践し、自動車排出ガスの排出量を抑制するとともに、交通事故件数を減らします。

施策番号 17 燃やせるごみの排出量を市民一人当たり年間 100 kg未満へ減量し、ごみ焼却による温室効果ガスの排出を抑制します。

<環境指標・目標>

施策番号	指標	目標値	担当課
15	広報依頼回数	各1回/年	市民環境課
16	交通事故件数	110件以下/年	市民環境課 総務課
17	燃やせるごみの排出量 ※事業系除く	100kg 未満 / 人・年	市民環境課

事業所における取組み

施策番号 18 エアコン使用による温室効果ガスの排出量を抑制するため、市内の各事業所でクールビズ・ウォームビズを実践します。

<環境指標・目標>

施策番号	指標	目標値	担当課
18	クールビズ・ウォームビズ 広報依頼回数	各1回/年	市民環境課



市民曾於ぐるみ交通安全運動!!の様子

市役所での率先した取組み

- 施策番号 19** 曾於市役所地球温暖化対策実行計画に基づいて、二酸化炭素の排出量を2013年度比6%削減します。
- 施策番号 20** 庁内で使用する紙や文具類、消耗品などについては、グリーン購入法に従って、環境に配慮された商品の購入を推進します。
- 施策番号 21** 地球温暖化がもたらす気候変動について周知し、国や県の気候変動適応の考え方の周知を図り、具体的な取組みの実施を促します。
- 施策番号 22** 市内の公共施設や事業所をクールシェア・ウォームシェアスポットとして登録し、休息施設としての利用を促進します。
- 施策番号 23** 思いやりバスや思いやりタクシーを適切に整備するとともに、JRへ便数増加の要請を行い、公共交通機関の整備を図り、温室効果ガスを削減します。
- 施策番号 24** 学校の施設改修に際して、省エネルギー設備の積極的な導入を進めます。
- 施策番号 25** 庁舎の増改築をはじめとする公共施設の改修の際は、環境負荷の少ない設備や資材を利用します。
- 施策番号 26** 市役所で導入する機器は省エネルギーのものを導入するとともに、ペーパーレス化を推進し、燃やせるごみの排出量を抑制し、温室効果ガスの削減を図ります。



曾於市役所本庁舎



公用車（低排出ガス車）



思いやりバス・思いやりタクシー

<環境指標・目標>

施策番号	指標	目標値	担当課
19	温室効果ガス削減率	-6% ※2013年度比	財政課
	低排出ガス車率	10% [2030年度までの累計]	財政課
20	10年間で、取扱用品について、環境に配慮した商品の購入品目数	50%以上 [2030年度までの累計]	会計課
21	気候変動広報依頼回数	1回/年	市民環境課
	気候変動適応に関する具体的な取組み実施数	10施策 [2030年度までの累計]	市民環境課
22	クールシェア・ウォームシェアスポット個所数	市内20個所 [2030年度までの累計]	市民環境課
23	思いやりバス・タクシーの利用者数	51,000人/年	企画政策課
	列車の本数の推移	上り下り+1便 ※2020年度比 [2030年度までの累計]	企画政策課
24	教室や体育館、武道場の蛍光灯や水銀灯の照明設備をLED電球へ取替	100% [2030年度まで]	教育委員会 教育総務課
25	本庁舎への太陽光発電システム設備・LED照明設備導入	導入 [2022年度]	財政課
	大隅・財部支所へのLED照明設備導入	導入 [2024年度]	財政課
26	ペーパーレス項目数	32項目 [2030年度までの累計]	総務課



本庁舎に設置されている太陽光発電施設



財部駅

コラム COOL CHOICE

「COOL CHOICE」は、「2030年度に、温室効果ガス排出量を26%削減（2013年度比）する」という国の目標達成のために、国民が、低炭素型製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する、また快適な暮らしにもつながるあらゆる「賢い選択」をしていこうという取組みです。

身近な生活のなかで、未来のために、今選択できるアクションを選ぶ。私たちが無理なく楽しく、そして今から始められる“COOL CHOICE（=賢い選択）”は、具体的に次のような取組があります。

1. 低炭素型製品への買換え

- ・LED、エアコン、冷蔵庫、テレビなどの省エネ製品
- ・高効率給湯器などの導入
- ・高气密高断熱住宅の新築・リフォーム

2. 低炭素サービスの選択

- ・公共交通の利用
- ・都市部ではカーシェアリング
- ・低炭素物流サービスの利用
- ・スマートメーターによる「見える化」

3. 低炭素なライフスタイル転換

- ・家庭でのクールビズ、ウォームビズ
- ・エコドライブ、自転車の利用
- ・うちエコ診断による見える化

COOLBIZ

クールビズ

WARMBIZ

ウォームビズ

出典：JCCCA「クールチョイス！省エネガイド楽しく“節エネ”ライフ」及び環境省ホームページ



3-2. 家庭ごみの不法焼却に関する施策

家庭ごみの不法焼却対策

施策番号 27 家庭でのごみ焼却が違法であり、火災の危険性もあることを周知し、家庭ごみ焼却と野焼きの煙に関する苦情を減らし、それに起因する火災も減らします。

<環境指標・目標>

施策番号	指標	目標値	担当課
27	不法焼却に関する苦情件数	0件/年	市民環境課 総務課
	家庭ごみ・野焼きに起因する火災件数	13件以下/年	市民環境課 総務課

3-3. 事業所の不法焼却に関する施策

事業所における不法焼却対策

施策番号 28 事業所における不法焼却を防止するため、環境パトロールを実施し発見した際は指導を行います。

<環境指標・目標>

施策番号	指標	目標値	担当課
28	事業所の不法焼却件数	0件/年	市民環境課



3-4. 騒音・振動・悪臭に関する施策

騒音・振動・悪臭対策

施策番号 29 自動車騒音常時監視業務を継続して実施し、環境水準を達成します。

施策番号 30 騒音・振動・悪臭が発生した場合は、原因を特定し、被害状況を計測機器などを使用して把握し、解決を図ります。

<環境指標・目標>

施策番号	指標	目標値	担当課
29	環境基準達成率	100%/年	市民環境課
30	騒音苦情件数	0件/年	市民環境課
	振動苦情件数	0件/年	市民環境課
	悪臭苦情件数	0件/年	市民環境課



3-5. 光化学オキシダント・PM2.5 対策に関する施策

光化学オキシダント・PM2.5 対策

施策番号 31 光化学オキシダント及び PM2.5 に関する健康被害防止のため、気象情報の発令に備え、年1回の伝達訓練を実施します。

<環境指標・目標>

施策番号	指標	目標値	担当課
31	訓練実施回数	各1回/年	市民環境課

4. 市民及び事業者の取組み

市民の取組み

- 日常生活において、省エネルギーを意識した行動を心掛けます。
- 車を購入する際は、エコカー（低公害車，低燃費車）など，環境への負荷が少ない車を検討します。
- ゆっくり加速，ゆっくりブレーキ，アイドリングストップなど環境と安全に配慮した運転（エコドライブ）に努めます。
- 公共交通機関や自転車を積極的に利用します。
- 野外でのごみの焼却を行いません。
- たき火などを行う際は，煙に注意し，近隣住民に迷惑がかからないようにします。
- 暮らしの中から生じる騒音に気を付けます。

事業者の取組み

- 環境マネジメントシステム（エコアクション 21，ISO14001 など）の導入を検討します。
- ゆっくり加速，ゆっくりブレーキ，アイドリングストップなど環境と安全に配慮した運転（エコドライブ）に努めます。
- 事業活動から生じる大気汚染，騒音，振動，悪臭などの防止に努めます。
- SDGs などの新しい考え方を事業に取り入れます。



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

